

**助成金情報**

**2023年度日社済「社会福祉助成事業」**

公益財団法人日本社会福祉弘済会は、少子高齢化が進展し、多様化する福祉需要のなかで社会福祉の向上を目指した「研修事業」や「研究事業」に助成することにより、豊かな福祉社会の実現に寄与することを目的としています。

**助成対象事業と助成対象経費**

【研修事業】

①対象事業

○福祉施設職員の方などを対象としたケース

○地域住民の方などを対象としたケース

②対象経費

○講師謝金・交通費・宿泊費・会場費・報告書作成費

【研究事業】

①対象事業

○福祉サービスの向上等を目的とした先駆性のある事業の実践を通して行われる研究事業

○社会福祉関係者の専門性の向上、現任訓練の方法や体系、また就労、福利厚生などをテーマとする調査研究事業

②対象経費

○研究事業費・調査経費・謝金・原稿料・報告書作成費

■事業実施期間

2023年度（2023年4月から翌年3月末）中に実施される事業

■助成金額

1件（1団体）あたりの上限額50万円（総額2,000万円以内）

※助成対象経費合計の80%以内かつ50万円以内となります。

■添付資料

①申請団体の定款（任意団体は規則、規定）

②申請団体紹介パンフレットや団体発行の機関誌など

③申請団体の直近の事業報告、決算書

④申請団体の役員（会員）名簿

■問い合わせ・申請先

1. 申請書 日本社会福祉弘済会のホームページをご覧ください。申請用紙等はホームページからダウンロードの上、ご使用ください。

2. 申請期間 2022年12月15日

3. 提出先 左記のアドレスに申請書を添付のうえ電子メールにて申請してください。

Email jyosei@nisshasai.jp

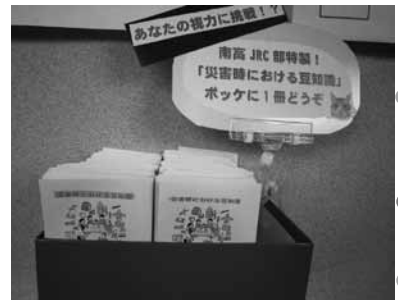
©問い合わせ先 TEL03-58858-8126

**高校生ボランティアリレー**

米子南高校JRC部は、2年生2人で活動しています。今回は、水陵祭(学芸祭)で行ったJRC部の展示と現在の活動について報告します。

2022年は青少年赤十字が誕生して100年の記念すべき年です。その100年の歴史や活動を横造紙にわかりやすくまとめて掲示し、県内のJRC部のある高校の活動も紹介しました。また同時に、防災についての展示も行いました。災害時に持ち出すものをまとめたリストや、自由に持ち帰ることができる防災ミニハンドブックも作成しました。この展示で、一人でも多くの方がJRCに興味を持ってくれると嬉しいです。現在は、インターネット等を活用して、包帯法の学習と練習を行っています。

鳥取県高等学校青少年赤十字(JRC)部  
 鳥取県立米子南高等学校JRC部





# 米子市 ボランティア 協議会だより

## 第41回「米子市福祉のつどい」成功！

10月9日（日）、コロナ禍で2年間中止になった「1000人ウォーク」を見直し開催された「米子市福祉のつどい」わくわくフェスタが無事に終了しました。

当日、この時期としてはかなり冷え込みましたが、会場となった「ドラドラパーク米子市民体育館」の中は皆さんの熱気と笑顔、歓声で身も心も暖かな時間を過ごすことができました。

伊木米子市長に続き、中村会長の「誰もが住みやすいまちづくりを目的に皆さんと交流ができたら…」という挨拶から始まり、まるやまかよこさんの「手話歌コンサート」では、「大山」や「虹」、「うさぎ」の手話を交えながら、参加者の方とともに和やかな時間を過ごすことができました。まるやまかよこさんのやさしい



情報誌編集局長 小島 知子



語りも心地よいものでした。

鳥取県ボッチャ協会の協力をいただいた「ボッチャ体験」では、簡単なルール説明の後、6つのコートで対戦

が繰り広げられました。始まってすぐは、皆さんおっかなびっくりという感じでしたが、試合が進むにつれて、白いボール（ジャックボール）に少しでも近づけるべく試行錯誤をされている様子が伝わって来ました。

狙い通りにボールが転がった時や、接戦となった時には、コートからは歓声が上がっていました。コロナ禍で人との距離を取る習慣がついてしまっていました。人と直に触れ合う時間は、やっぱり大事にしたいなと感じました。

コロナ対策もあり、これまでとはいろいろ違う中でも、前日から準備に携わっていた皆さんのおかげで、当日はスムーズに進み、大きな問題もなく開催できたと思います。ありがとうございました。

情報誌編集局長

小島 知子



## 小さな発見、目々折々(4)

### 見つめなおす

ついこのあいだ新年を迎えたような気がするのに、ついにカレンダーが残り1枚になりました。日の入りが早くなるにつれ、気持ちの方も気忙しくなります。「いつか」「そのうち」と先送りにして来たことを自分なりに見つめなおすのもこの時期です。

やっておけば良かったと思うことはいくつかあるのですが、ここ数年は「大切な人に会う」ことを、大切な人だからゆえに避けていたように思います。時間の経過は誰にも避けては通れません。近いうちに「大切な人」に「元気な自分」を届けに行けたらいいなと思います。

(小島知子)

## うごき

9月16日～11月15日

9月

- ◆18日…ボッチャ講習会（5団体）
- ◆22日…「米子市福祉のつどい」事前説明会（16団体）、鳥取県ボランティア・市民活動運動委員（オンライン）（齊木）

10月

- ◆7日…「米子市福祉のつどい」準備品等確認（内藤）
- ◆8日…「米子市福祉のつどい」前日準備（13団体）
- ◆9日…「米子市福祉のつどい」（16団体）
- ◆10日…アクアスロン皆生大会（5団体）
- ◆11日…誌面打合せ（小島）
- ◆27日…「米子市福祉のつどい」報告書打合せ①（中村、内藤）
- ◆31日…米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画個別検討会（中村）

11月

- ◆11日…「米子市福祉のつどい」報告書打合せ②（中村、内藤）



## イザ！カエルキャラバン ボランティア

10月29日(土)、昨年度に引き続き米子を会場とし、子どもたちが防災の知識を身につけられる親子向け防災教室が開催されました。今回は、米子市ボランティアセンターに申込みをし、ボランティアとして参加された15名のうち2名の方の声を届けます。

### 【参加者の声】

カエルキャラバンでは、「水消火器の当てゲーム」のお手伝いをしました。私の担当は、火災時の注意と消火器の使い方の説明です。当初、的は炎の絵に当たるとカエルに変わるものですが、的のバランスが悪く、カエルに当たって落とすことになりました。消火器への水と空気の補充は若いスタッフが担いましたが、大変そうでした。子どもたちは歓声をあげて消火活動の訓練をしました。中には2回参加する方も4組

あり、私もやりたいと言うお母さんも。各ゲームのなかでも、最もリアルなもので、人気があったようです。とにかく、火災を起こさないことが肝心だと改めて思いました。

辻本 篤郎

親子で防災プログラムに参加し、防災スタンプリリーに挑戦するものでした。11のブースのうち「紙食器作り」を担当しました。震災で家中の食器類が使えなくなった写真を見て、子供たちの表情が硬くなっていました。「災害時に使える紙コップを作りましょう」と声を掛けました。親子で話し合いながら、「出来た！」「ジュースが飲めるよ！」「お家でも作ってみるか」等の声が聞かれ、いつの間にか笑顔で楽しみながらされていました。このように親子で色々な体験ができることはいいなと思いつつながら、私も災害について勉強させていただきました。

齊木 尚代

## レクリエーション用品の貸し出しをはじめました！

第2回レクリエーション講座の講師 福祉レク・ネットワーク鳥取代表 玉木純一さんオリジナル商品を購入しました。とても分かりやすいルールで、脳トレにも最適です。各地区のサロンなど、様々な場面で役立てていただければと思います。是非ご利用ください。

■貸出し期間 2週間(申請書の提出をお願いいたします)



「いきいき元気にレクリエーション援助」→ テキスト



← 色合わせドミノ

## ボランティアデータ

9月1日～10月31日

新規個人登録 (登録総数 367人)	2人
新規団体登録 (登録総数 84団体 2,804人)	0団体
依頼(要請・お願い)	6件
相談(助言・情報提供)	71件
コーディネート (うち活動団体/4団体、個人/26人)	30件

※米子市ボランティアセンターを通して行われたデータです。

## 私たちの作業所 イチオシ商品!

### NPO 法人山陰福祉の会・さんふく楽団 「布和花 お祝い額」

SDGsの取り組みとしてタンスに眠っている「着物」をリメイク!

和裁の出来る職員の指導の元、ほどいた着物から、かわいい雑貨を生み出しています

ヘアピンは200円から、ブローチは500円から、そして最近はお祝い額を作りました。ぜひ、一度見ていただきたいです。各種イベント、展示会なども承っております。また、着物の維持、処理に困っている方からの情報もお待ちしています。各種リメイクご依頼ください。

【お問合せ】NPO 法人山陰福祉の会・さんふく楽団  
米子市淀江町中間 651-2 TEL36-8248





## まちがい探し

まちがいが3つあるよ。  
探してみてね。



●「ぼらんでいあ情報」の置いてあるところ  
公民館・市役所・市立図書館・市児童文化センター・  
市文化ホール・鳥取銀行市内各店・米子信用金庫市内各店・  
日交バスセンター・ふれあいの里等  
◆この情報誌に関するお問い合わせ先

米子市錦町1丁目139-3 「ふれあいの里」内  
TEL 23-5455 FAX 37-3855  
E-mail: veyonago@chukai.ne.jp

ボランティアに関する情報をお気軽にお寄せ下さい。

# イベント&講座

## ゴスペルオーブ クリスマスコンサート

私たちは、山陰を中心に県外でも活動しています。  
ソウルフルな歌声は、元気、希望、勇気が湧いてきます。  
子どもから大人まで、みんなで一緒に楽しみましょう！

- と き 12月25日(日) 開場13:00 開演14:00～
- と ころ 米子市公会堂大ホール
- 入 場 料 無料
- 出 演 ノーバオーブ・チームハレルヤ・ベシゴ・スマイル・  
ゴスペルキッズ・ゴスペルWay・素敵ゲスト(お楽しみに！)
- コロナウイルス感染拡大防止のためマスクを着用ください。
- 問合わせ ゴスペルオーブ TEL090-7130-6251(代表:小徳)



## 第4回レクリエーション講座

コロナ禍でも、地域活動やサロン活動で活用できるレクリエーションを  
ご紹介します。

日にち	時間	内容/講師	定員/ 先着	場所
1/16 (月)	10:00 ～ 11:30	■工作～身近なもので作ってみよう！ 遊んでみよう！～ 【講師】 おもちゃ工房 とんぼ舎 伊達孝禮さん	20人	ふれあいの里 2階

■対 象 市内に在住・在学・在勤で、地域活動に興味のある方

■問合わせ・申込み先

米子市ボランティアセンター(休館日:水曜)

TEL23-5455 FAX37-3855

※手話通訳・要約筆記が必要な方は申込時にお伝えください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、開催を中止とする場合があります。

## 12月・1月休館日

【12月】

4日、7日、14日、21日、28日～31日  
※12/4は、電気工事の為、全館休館となります。

【1月】

1日～4日、11日、18日、25日  
※水曜日が祝日の場合は開館し、翌日が  
休館日となります。

開所時間 8:30～17:15

## 編集後記

少しずつ行動制限が緩和され、私自身もイベントなどに参加する機会も増えてきました。やはりマスクは外せないのが現状ですが、早くマスクを外し、歌ったり、声援を送れる日が来ますように！

(あり)